



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2022年 2月号 (第67号)

今月のことば

「思いやる心」と「感謝する心」は、人としての行動を左右する。
 大切にしたい「受け止める力」と「思いを行動で示す力」
 (石田孝次選)

2021～2022年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「楽しさをシェアしよう！」

東新部部長 松香光夫(東京町田コスモス)

「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」

東日本区理事 大久保知宏(宇都宮)「私たちは 次の世代のために 何ができるか？」

アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート)「100年を越えて変革しよう」

国際会長 キム・サンチェ(韓国)「世界とともにワイズメン」

《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 直前会長 深尾香子

書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

(当クラブは、多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です。)

今月の強調テーマ: TOF (Time of Fast: 断食の時)、ヒールザワールド (4 ページに解説)

2月3日クラブ合同例会プログラム

東京町田コスモス・東京町田スマイリング・東京多摩みなみ

日時: 2月1日(火) 19:00～20:30

会場: Zoom による WEB 開催

司会: 田中博之書記

- *開会点鐘 伊藤幾夫会長
- *ワイズソング
- *今月のことば 石田孝次
- *ゲスト/ビジター紹介 伊藤会長
- *ホストクラブ会長挨拶 伊藤会長
- *東京町田コスモスクラブ会長挨拶 今村路加
- *東京町田スマイリングクラブ会長挨拶 為我井輝忠
- *入会式 伊藤江理夫さん (立会:松香光夫部長)
- *今月のスピーチ
「ワイズができること-YMCA とともに-」
山田公平さん(東日本区国際・交流事業主任)
- *YMCA ニュース・各種アピール
- *ハッピーバースデー
- *YMCA の歌
- *閉会点鐘 伊藤会長

【巻頭言】

「オミクロン株で見えて来た本当の日米関係」

新年に入ってオミクロン株の感染者が急増しています。沖縄では、この2週間で61倍に東京でも29倍に膨れ上がっています。その大きな要因に国内の米軍基地があります。基地内は安保条約と日米地位協定によって我が国の法律や慣例は適用されません。しかも米側はマスクも必要なく陽性者や濃厚接触者の隔離や出入国時の検査も我が国とは比べ物にならない程緩いのです。沖縄では10月からマスクの義務化など基地内労組から正式に対策強化を要望しています。私も稲城市長として米軍と接する機会も多くありましたが、彼らは日本にいるという意識も基地内外の区別も強くないのです。林外務大臣がプリンケン国務長官に12月22日に対策を要請して、ようやく米側は動き始めました。しかし沖縄では今でも街にノーマスクの米兵が散見されます。東京の横田基地でも179人の基地内感染者が出ています。地方自治体では早い段階から基地の危うさを指摘しながら動かなかった政府の責任は大です。しかもこの程度のことを政府のトップが動かないと対応できないという事実です。日本は独立国とは言いがたいです。
 (石川良一記)



2月の当クラブの Happy Birthday

井上富子(15日)、伊藤幾夫(17日)

1月例会	在籍10名 (内広義会員2名) 在京ワイズ新年会	出席内訳	メンバー	BF		ファンド	
			6名	切手	g(今年度累計 g)	オークション	0円
			メーキャップ	使用済み切手、少しでもご持参ください		(今年度累計 0円)	
			出席率	75%		スマイル	
			メネット	0名		0円	
			ゲスト・ビジター	省略		(今年度累計 0円)	
				(今年度累計 9,900円)			

1月例会(在京ワイズ合同新年会)報告

1月8(土)13時から、在京ワイズ合同新年会が東京YMCA東陽町センターをリアル会場、オンライン(Zoom)で同時配信というハイブリッド方式で開催されました。ホストは、東京むかでクラブでした。当クラブは、この新年会を1月例会として扱いました。リアル参加は、各クラブ1名ということで会長の私、そして他のメンバーはZoom参加でした。第1部は新年挨拶として東京YMCA総主事の菅谷淳さん、東



日本区理事の大久保知宏さんからそれぞれメッセージをいただきました。菅谷総主事は、メジャーリーグ



で活躍された大谷翔平選手にふれて、大谷選手の高校時代の目標シート(マンダラシート)がまさにYMCAの使命(Yの三角形=心技体)と似ていると話されました。大久保理事は、ワイズ100周年にちなんで「100円募金」など100のつ

いたプレゼントを考えてほしいと話されました。第2部は、特別講演として、公益財団法人ジョイセフのプログラムオフィサー甲斐和歌子さん(写真)から「思い出のランドセルギフトにご協力を！一タリバンの



心を動かした人」と題して、スライドショーを用いてお話しされました。

「2004年からスタートしたこのプ

ログラムは、これまでに24万個のランドセルをアフガニスタンに送ってきました。この活動については、2年前から小学校の国語の教科書にも紹介されています。貧困などの理由で、小学校への入学は男子7割、女子5割という状況です。多くの子どもたちがランドセルに学用品を詰めて通学できる日を願っています。ご協力をお願いします」。第3部は各クラブの活動報告でした。当クラブは事前に送っておいた「プランター講座の実践」等をパワーポイントで説明しました。15時過ぎに終了しました。リアル参加者25名、Zoom参加者54名でした。

《当クラブの出席者》

6名:石田、伊藤、小野、田中、深尾、綿引(伊藤記)

1月第2例会(運営会議)報告

1月10日(月)19:00から、Zoomで1月の第2例会が開催されました。例会扱いとした在京ワイズ合同新年会報告、会計報告、1月ブリテン構成の他に、以下のことが報告、協議されました。

- ぼんぼこ農園関連:地々、土起こしを行い、次回の植え付けに備える。
- 第4回プランター講座:石田さんによる計画案をもとに話し合いました。リスクを避けるために、一般の参加は、ステップを追って行った方が良いという意見等があり、関係者で詳細を詰めることになりました。
- 各種献金(部を通じて東日本区へ)の集め方について確認しました。
- 3月例会のスピーチは、深尾さんが事業主任としてCS・Yサ事業関連について行うことになりました。2月例会で入会予定の伊藤江理夫さんも参加し、参加者一同が自己紹介を行いました。(田中記)《出席者》6名:石田、伊藤、小野、田中、深尾、綿引

公示:2022-2023年度クラブ役員候補者

12月第2例会(役員会)で話し合い、次期クラブ役員候補者を選出しました。2月例会で承認を受けます。新役員の顔ぶれは、副会長職がなくなっただけで今年度と同じです。2年目のスタートとなりますが、新年度はクラブ役員他、東新部の3役(部長:深尾、書記:伊藤、会計:綿引)の務めも担いますので、職務の両立を今まで以上に図っていく必要があります。また、担当主事の小野さんは、部長所属クラブの担当主事として、部の担当主事も担われます。みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。(伊藤記)

会長候補

書記候補

会計候補



伊藤幾夫



田中博之



綿引康司

直前会長

担当主事



深尾香子



小野 実

今月のスピーカー

山田公平さん (宇都宮クラブ)

(東日本区国際・交流事業主任)

タイトル: **ワイズができること**
—YMCA とともに—



<プロフィール>

【ワイズ関連】

1984年、宇都宮クラブ担当主事⇒東京グリーンクラブ⇒東京多摩クラブ(東京武蔵野多摩クラブ)⇒香港 Tsim Sha Tsui クラブ⇒宇都宮クラブに復帰

2016年から現在にいたるまで YMCA リエゾンとして国際およびアジア太平洋地域の事業主任

2017年の東西ワイズ交流会でパートナーシップ検討委員会設置

2021-22年、東日本区国際・交流事業主任、東日本区次々期理事

2022年、パートナーシップ委員会主催のユースアクションを展開

【YMCA 関連】

1977年ボルチモア YMCA(米メリーランド州)老人プログラム担当。1979年帰国

以後、東京 Y 英語専門学校(5年)⇒とちぎ YMCA 総主事(12)⇒東京 Y 専門学校統括(6)⇒日本 YMCA 同盟総主事(7)⇒アジア・太平洋 YMCA 同盟総主事(在香港)(7)。2016年、退職帰国。現在に至る。

【その他】

家族・妻(マーリン)、娘、2人の息子

趣味:柔道、油絵、

活動:WFYRとJFYR(退職者会)、ワイズ、自治会、カトリック教会、賛育会、祈りの研修

「東日本区 CS・Y サ事業主任」として

1月度報告:深尾香子

1月17日に、第2回CS・Yサ委員会をZoomにて開催し、各部の主査、部長と9月～12月の活動を共有しました。今期はコロナ禍が一段落し、各所で工夫を凝らして再開された事業が散見されました。スピーチコンテストや、部大会の特別講演会等はオンライン開催に、バザーや、スポーツ大会、キャンプ場の整備等は感染症対策を厳しく行っただけの対面開催が報告されると、お互いに刺激を受けていただいた様子でした。私からは、年初に伝えた取り組みの内「プロボノリスト」と「日本YMCA災害ガイドライン」の説明や、各種献金、100周年行事「Food&Heritage」への協力依頼を行い、第3回委員会(3月中～下旬開催予定)を次の区切りとして活動を促しました。我がクラブからは、滝口さんが「芋煮」のレシピを寄せてくれました。

新入会 歓迎! 伊藤江理夫さん



《プロフィール》

1974年1月17日生まれ(48歳)

勤務先:シチズン時計株式会社

紹介者:伊藤幾夫

私の息子です。このたび、ワイズに入会することになりました。よろしくお祈りします。子ども(小学校2年生)の頃から、YMCAのプログラムに参加するようになりました。日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘(とうざんそう)の年末年始家族パーティに1982年に参加したのが最初でしょうか。東山荘には以後(途中中断はありますが)ずっと現在まで続いています。

横浜YMCAのプール教室、東京YMCAの野尻学荘ヨットキャンプ、武蔵野YMCAの野外キャンプなどに参加してきました。YMCAに育ててもらったと言っても過言ではないでしょう。「いつかワイズに」と親としては願っていましたが、実現できてたいへん喜んでします。40代という多忙な年代ですので、どこまで関われるのか心配ではありますが、「ワイズ入会」という大きなステップを踏んでくれました。期待しています。

東新部 EMC セミナーのお知らせ(続)

《テーマ》

「Change! 2022 ラストスパート!」

東新部では、区の会員増強プロジェクト「Change! 2022」が2022年末をもって終了するのを受けて、「ラストスパートをかけよう」との主旨でこのセミナーが開催されます。目標値(区全体で会員1,246名を達成)に少しでも近づけるように、みなさんで知恵を出し合ひましょう。多くのメンバーのご参加をお願いします。

日時:2月12日13:30~15:30

ハイブリッド形式(東陽町センター&Zoom)

(*コロナ・オミクロン株の感染拡大の状況でZoomのみになる可能性もあります)

発題者として次の3名の方を予定しています。

- ・伊藤幾夫(部LT委員長)「プロジェクトの振り返り」
- ・深尾香子(次期部長)「ラストスパートの具体策」
- ・城井廣邦(東京むかで、次々期部長)「ポスト2022を展望」

(伊藤記)

松香光夫部長 公式訪問

第2回目の部長公式訪問は第2例会の折りです。

日時：2月14日(月)19:00~20:30 Zoom

ぼんぼこ農園便り

1月17日(月)の午後、佐々木さんと私の二人で大根を植えたエリアの跡の土壌改良の作業のためチップ材の散布と畑をスコップで深く耕し、土をなじませる作業をしました(=右写真)。その状態で少し寝かせ、19日(水)には、藤田さんが簡易型の耕運機を農園に持ち込んでくれました(=下写真)。佐々木さんが器用に使いこなし、ローラーで土を細かく砕き、ほぐしました。お陰で粘土質の土が微粒のふんわりとやわらかな土に姿形を変えることができました。



3月に入り春野菜を植えるため種から苗に時間をかけて育て上げ、このふかふかの土に植えつける予定です。みずみずしいレタス、ニンジンがお目見えすると思います。22日(土)には、お昼前に佐々木さんと白菜の残りを全て収穫(7~8個)しました。今回は、プランター講座の収益金の一部を地元多摩市で活動している民間のNPO団体の「フードパントリーあらあら」に採れたての白菜をそのまま直行してお届けしました(=下写真)。本業はお休みでしたが、裏側の倉庫に回ったら代表の荒井さんがいて、毎週土曜日の午後を集荷された「余り食材」の仕分け作業の真っ最中のタイミングでした。「飛んで火にいる夏の虫」で、私は、急遽お手伝いをする羽目になりました(笑)。今回、「あらあら」さんが、毎週土曜日に定期的に「余り食材」を仕分けし、日々の食事に苦労されている地元市民のためにこのパントリーサービスを継続されていることを身近に知ることができました。ぼんぼこ農園の行き場のなくなった野菜のお役立ちの終着駅にもなりますし、また、「あらあら」さんには、民間のNPOでは先駆的な事例のようで、食材を保管する大型の冷蔵設備を完備したフードパントリーサービス提供団体として公的に認定されていることが分かりました。今後とも、クラブとして野菜の提供だけでなく、多摩市社協と同じ位置付けでフードパントリーサービスのお手伝いにクラブメンバーが代る代る参加する地道



お昼前に佐々木さんと白菜の残りを全て収穫(7~8個)しました。今回は、プランター講座の収益金の一部を地元多摩市で活動している民間のNPO団体の「フードパントリーあらあら」に採れたての白菜をそのまま直行してお届けしました(=下写真)。本業はお休みでしたが、裏側の倉庫に回ったら代表の荒井さんがいて、毎週土曜日の午後を集荷された「余り食材」の仕分け作業の真っ最中のタイミングでした。「飛んで火にいる夏の虫」で、私は、急遽お手伝いをする羽目になりました(笑)。今回、「あらあら」さんが、毎週土曜日に定期的に「余り食材」を仕分けし、日々の食事に苦労されている地元市民のためにこのパントリーサービスを継続されていることを身近に知ることができました。ぼんぼこ農園の行き場のなくなった野菜のお役立ちの終着駅にもなりますし、また、「あらあら」さんには、民間のNPOでは先駆的な事例のようで、食材を保管する大型の冷蔵設備を完備したフードパントリーサービス提供団体として公的に認定されていることが分かりました。今後とも、クラブとして野菜の提供だけでなく、多摩市社協と同じ位置付けでフードパントリーサービスのお手伝いにクラブメンバーが代る代る参加する地道



定期的に「余り食材」を仕分けし、日々の食事に苦労されている地元市民のためにこのパントリーサービスを継続されていることを身近に知ることができました。ぼんぼこ農園の行き場のなくなった野菜のお役立ちの終着駅にもなりますし、また、「あらあら」さんには、民間のNPOでは先駆的な事例のようで、食材を保管する大型の冷蔵設備を完備したフードパントリーサービス提供団体として公的に認定されていることが分かりました。今後とも、クラブとして野菜の提供だけでなく、多摩市社協と同じ位置付けでフードパントリーサービスのお手伝いにクラブメンバーが代る代る参加する地道



な活動を地域CS活動の一環として加えて行くことができればボランティア活動の柱が、もう一つ増えることになります。アクティブな活動として積極的に取り組んで行きましょう。(石田記)

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

◆早天祈禱会 2月1(火)7:00~8:00

奨励者：並木信一さん(東京八王子クラブ)

◆「ピンクシャツデー」2/23(水)

いじめによる痛ましいニュースが耐えない中、全国のYMCAは今年も2月、いじめについて考え、ピンク色のシャツを着るなどしていじめ反対をアピールします。

◆第23回 liby チャリティーコンサート

不登校など生きづらさを抱える青少年の居場所「オープンスペース liby (リビー)」を支援するチャリティーコンサートです。

【日時】3月13日(日)13:30~ 【チケット】1,000円

【会場】山手センター *オンライン参加可

【出演】越智光輝さんとゆかいな仲間たち/三菱商事コーラス同好会

【自主献金のお願い】 会計：綿引康司

例年、2月にはメンバーの皆様にご自由献金をお願いしています。自由献金の科目は、昨年までの地域奉仕(CS)、主事・リーダー研修(ASF)、HIV/エイズ啓発(FF)、代表派遣・国際役員旅費(BF)、貧困等対策(TOF)、マラリア撲滅(RBM)、クラブ新設(YES)、国際協会設立100周年事業(PWALP)に、新たに「ユース活動支援」が加わりました。この中で特にTOFへの配慮をお願いします。昨年度までは会費に食事代が含まれていましたが、今年度は食事代を頂いていないため皆様にTOFへの協力一層お願いするものです。またミャンマーのYMCA・ワイズ支援の献金もあわせてお願いします。

強調月間「ヒールザワールド」について

「世界を癒そう」(Heal the World)。国際協会が2020/21年度に開始した統一国際プロジェクトで、世界を癒すために、強固な国際的な関与と組織的な連携、連帯を構築して、私たちのボランティアの力を、より発揮することを目的としています。主な活動内容は、災害時等の救援物資の提供/ボランティア支援、医療/健康プログラム、専門家のネットワーク構築など。プロジェクトの資金は、主とTOF献金が用いられます。今年度、これまでにインド、ラテンアメリカの新型コロナウイルス被災者支援がこのプロジェクトとして行われてます。(田中記)

これからの予定

*2/12(土) 東新部 EMC セミナー (別掲)

*2/14(月)19:00~Zoom 第2例会「部長公式訪問」

*2/26(土)20:00~Zoom ワイズナイトフォーラム

*3/1(火)19:00~Zoom3月例会